

市議会12月定例会

議会人事が決定

市議会12月定例会が開催され、平山政利氏が副議長に選ばれました。また、議会運営委員会と各常任委員会の所属議員の改選も併せて行われました。

市議会12月定例会で決まった議会運営委員会・各常任委員会などの議事人事は次の通りです。

※敬称略。令和3年12月3日就任・選出（石田勝一氏は元年9月6日議長就任）。

議長・副議長

議長…石田勝一
副議長…平山政利

議会運営委員会

委員長…山崎等
副委員長…行木光一
委員…田村明美、荻谷進一、栗田剛一、武田光由、林明敏、都祭広一

常任委員会

◆総務常任委員会
委員長…宮内康幸
副委員長…平山政利
委員…荻谷進一、浅野勝義、林明敏、石田勝一



◆文教福祉常任委員会

委員長…椿日出男
副委員長…田村明美
委員…石田加代、行木光一、山崎等、都祭広一

◆産業建設常任委員会

委員長…増田正義
副委員長…武田光由
委員…佐藤悟、栗田剛一、小川博之（欠員1人）

◆予算決算常任委員会

委員長…都祭広一
副委員長…田村明美
委員…正副委員長を除く他の議員

問市議会事務局 ☎73・0099

飯高を歩く

光圀一行

水戸黄門として知られる水戸藩第二代藩主徳川光圀は、1700（元禄13）年に73歳で亡くなりました。それからおよそ50年後には黄門の漫遊逸話集が生まれたとされます。

1695（元禄8）年1月、江戸の水戸藩邸から8日間かけ西山荘（茨城県常陸太田市）へ帰る際に、下総国の諸社寺を

匠瑤探訪
188

参詣しました。当時光圀は藩主を退いていましたが、一行は同月16日に江戸を出発、3日目の19日は中村（現・多古町）に宿泊し、翌20日に飯高寺、飯高妙見宮（飯高神社）に立ち寄り、同日夜は太田村（現・旭市）に泊まりました。

『旭市史』によると、一行の総勢は334人。随行者は側用人、食事に關する賄人と庖丁人、医師、馬5匹を管理する馬屋衆、かごを担ぐ籠衆、飛脚などでした。これらは、太田村と成田村（現・旭市）の農家に分宿し、近隣11カ村も道案内など手助けをしました。



飯高神社の階段

一行の宿泊地太田村では数日前から農家で火を使うことに制

限があったり、子どもを外で遊ばせなかったりなど厳しい態勢がとられたなどの言い伝えを聞きました。

飯高村では、飯高妙見宮と妙福寺への新たな参道2本を新設しました。このうちの1本は現在も池田堤として残されています。また、鳥居から妙見宮への150数段ある石段もこの時に造られたのではないのでしょうか。こうした大工事は飯高村だけで成し遂げられるものではないことから、多くの近隣村から援助や協力があつたのでしょうか。

光圀没後100年ほどした1803（享和3）年に飯高寺から水戸藩邸に提出した記録に、光圀は元禄8年の参詣後2度訪れたとありますが、当時は体調が思わしくなかったとされます。飯高寺周辺には黄門桜などゆかりの史跡が残されています。

（市文化財審議会委員・

依知川雅一）

問秘書課広報聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一推薦

古希となり目の衰えに戸惑いて

賀状仕舞いを書き添えておく

愛息の行く末案じ妻の逝く

今日は良き日祝い船

娘が逝きて子猫授かる縁ありて

胸に抱けば楽しからずや

師走入り花芽賑らむシンピジューム

今日を限りと部屋に取り込む

山茶花の散りたる道を歩みたり

赤き花びら仕舞いの輝き

想い出す母の笑顔に励まされ

母の歩めぬ齢歩めり

別れの日「ひと日、ひと日」が迫り来て

脈取る指に亡夫の温もり

われの手の届く高さにしつらへし

柚子は今年も豊かに実る

西山に鳥か獣か末魔断つ

如き絶叫火を点す頃

伊藤 英子

伊橋 勝利

内藤喜代美

鈴木 知子

古谷由美子

木下 昌子

鈴木 和子

川口城司 推薦

稲葉 雪子

石田 治

俳句

高安せい子推薦

石垣を音なく積むや鴉日和

戸の隙に赤き入日や鴉の声

冬耕の時折眺む四方の山

枯葉の音幽かに寂聴逝きたまふ

冬耕や背の逞しトラクター

冬耕や友の手伝い鍬を持つ

乾しワラを束ねる谷津田午後三時

散歩道どこ迄行っても冬日かな

鬼胡桃利根を流れて九十九里

川柳

勝又康之推薦

お正月爺婆ニヤリ孫迎え

門松は婆も飾れる紙二枚

人の波スマホ動画で初日の出

風情ある正月行事懐かしむ

オミクロン家で済ませる初詣で

新年に叶えたい夢トライする

元旦に禁煙誓う愛煙家

川口城司 推薦

ああいやだ無言で食べる食事会

自慢かな財布の厚みは診察券

大川 宣子

椎名 晴江

光瀬甲江子

岩井 やす

椿 和枝

安藤 建子

佐々木ゆき子

石田 健

須貝 玉枝

春日 政彦

土屋 秀雄

佐久間美智子

江波戸京子

岡田けい子

中村 九藏

安藤 幸恵

宮崎 賢一

須貝 玉泉

熱田真こと

力作募集中

宛先：匠瑛市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匠瑛市八日市場ハ793番地2
☎73-0080 FAX72-1114

図書館だより

匠瑛市八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

●休館日…年始4日まで、毎週月曜日、11日(火)

ご存知ですか、マイ本棚

図書館ホームページから「マイ本棚」をご利用できます。これは、図書館が所蔵している本で読みたい本や読み終わった本を、ホームページ上の自分専用「本棚」に登録できる機能です。利用には、八日市場図書館のカウンターでパスワードの登録(中学生以上が登録可)が必要です。図書情報も確認できますので、読んだ本を何度でも思い返すことができます。

資料の予約・リクエスト

図書館カードを持っている人は、10冊まで資料を予約できます。

また、所蔵のない資料は、3冊までリクエストを受け付けます。リクエストのあった資料は、購入または他の図書館から借り受けとなります。予約・リクエストカードに記入の上、図書館カウンターまでお持ちください。※要望に応えられない場合もあります。

夜間開館の再開

八日市場図書館で夜間開館(貸出し、返却、閲覧のみ)を再開しました。夜間開館…火～土(祝日除く)21時まで

詳しくはこちら

<https://www.library.sosa.chiba.jp>



おすすめの本

『北条義時 小説集』

海音寺潮五郎、高橋直樹、近松秋江、岡本綺堂、永井路子/著 作品社

たった1枚の肖像画さえ存在しない“顔のない権力者”北条義時。謎に包まれた鎌倉幕府二代執権の姿と彼の生きた動乱の時代を描いた、歴史小説アンソロジーです。

『図説鎌倉北条氏 鎌倉幕府を主導した一族の全歴史』

野口実/編著 戎光祥出版

北条氏の歴史、一門各家の特性や個々の人物像など、図版を用いて解説します。鎌倉幕府を主導した北条氏を知ることのできる1冊です。